



【責任者向け短期プログラム】
令和8年度（2027年1月開催）

サイバースペックス

サイバーセキュリティ企画演習（CyberSPEX） ご案内資料

2026年10月

独立行政法人
情報処理推進機構
産業サイバーセキュリティセンター



サイバーセキュリティ企画演習（CyberSPEX）とは



組織のサイバーセキュリティを推進する
責任者（マネジメント）層として必要な
企画立案スキルを習得するためのプログラムです。



責任者層として
知るべきサイバーセキュリティの
知識を獲得



サイバーセキュリティ推進のための
企画（体制、予算、ポリシーなど）
スキルを習得



経営層を説得する
考え方・ロジカルシンキングを習得

対象者

社会インフラ・産業基盤に関わる企業（ユーザー/ベンダー）・団体のサイバーセキュリティ推進する

- ・ **責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス）**
- ・ **今後、責任者になる方**

演習の特徴

 組織のサイバーセキュリティを推進する責任者として、
こんなお悩みありませんか？

- サイバー攻撃やインシデント管理、フレームワーク、BCPの考え方などについて知っておく必要がある
- 経営層から、組織のサイバーセキュリティの企画（体制、予算、ポリシー等）から提言まで求められた
- 予算獲得や人材確保のため上層部との調整や交渉をしないといけない



**責任者として取り組むべきことの全体像や
企画・提言の進め方がわかる！**

講義

サイバーセキュリティ
企画の前提となる
知識をインプット

ワークショップ

講義内容を基に
指導を受けながら
実践

提言シミュレーション 演習

ケーススタディを
通じた企画立案
役員会を想定した
提言

元経営者による 講義・アドバイス

経営層の考え方の
インプット
実践的なアドバイス
とフィードバック

ネットワーキング

サイバーセキュリティ
専門家や社外の
セキュリティ担当者との
人脈形成

受講者の声

- ◆ 自身のセキュリティ知識、経験の少なさを実感し、これが一番の収穫です
- ◆ 技術・対策中心に考えがちでしたが、受講後は事業継続・信用・財務・ガバナンスをセットで設計する意識が変わった
- ◆ グループワークを交えての演習の為、周囲の人とコミュニケーションを取る機会も増えとても有意義な時間だった
- ◆ いろいろな業界の方と協力して作業を進めることで、いつもの職場、普段の業務では得難い気づきを得られた
- ◆ 答えのない課題を異業種の方たちと一緒に考えることは刺激になり、今後の施策に有効なだけでなく自信にもつながる
- ◆ 責任者視点で抑えるべき論点を体系的に整理できた
- ◆ 経営目線の評価軸で整理し、短時間で提案に落とすプロセスは今後活用できる
- ◆ 経営経験者から本音をいただけたことは大変貴重だった



講義の様子



戦略提言シミュレーション演習の様子

概 要

- 前段（2日間）と後段（2日間）の2回に分けて、計4日間実施します。 ※全4日間の日程での募集になります
- 前段の学びを踏まえ、後段受講までの間で自組織の状況や課題を見つめ直して頂き、後段に臨んでいただきます。
- 前段は講義主体、後段はワークショップ主体で構成しております。

スケジュール（予定）

前段（2日間）			後段（2日間）		
内容（講義・ワークショップ）			内容（講義・ワークショップ）		
2027年 1月14日(木)	10:00～11:30	戦略提言のための想定企業と起こり得るサイバーインシデントを知る（講義）	2027年 1月21日(木)	10:00～13:15	経営経験者による講義（講義）
	11:45～13:15	サイバーセキュリティ企画のための会計を知る（講義）		14:15～17:30	セキュリティ企画書作成1（ワークショップ）
	14:15～17:30	企業レベルでのセキュリティ評価方法を知る（講義）			
1月15日(金)	10:00～13:15	現場レベルでのセキュリティ評価方法を知る（講義）	1月22日(金)	10:00～13:15	セキュリティ企画書作成2（ワークショップ）
	14:15～17:30	仮想企業セキュリティ企画を立案（ワークショップ）		14:15～17:30	戦略提言シミュレーション演習（ワークショップ）

※ 昼食休憩1時間、コーヒーストップを適宜設定します。

※ 初日の講義終了後、受講生(任意参加)と講師陣等によるネットワーキングを予定しております。

※ 各日の終了時間は、活発な質疑応答などで延長する場合がありますので、お時間に余裕を持ってお参加ください。



越島 一郎

名古屋工業大学 名誉教授
産業サイバーセキュリティ
センター 専門委員

- 1979年4月 千代田化工建設入社
- 1998年4月 千葉工業大学 准教授・教授
- 2008年9月 名古屋工業大学大学院 教授
- 2019年4月より現職



橋本 芳宏

名古屋工業大学 名誉教授
ものづくりDX研究所 客員研究員

- 1985年 京都大学化学工学専攻博士課程修了（プロセス制御、運転支援）
- 2011年に経済産業省制御システムセキュリティ検討タスクフォースに参画以来、制御系の安全確保を中心としたサイバーセキュリティ研究に従事
- 2023年4月より現職



中野 利彦

名古屋工業大学 客員教授
(日立製作所)

- CSSC 情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)
- 内閣官房 重要インフラサービス障害に係る対処態勢検討ワーキンググループ委員 等



佐々木 弘志

名古屋工業大学 客員准教授
(フォーティネットジャパン)

- 経済産業省 商務情報政策局サイバーセキュリティ課 情報セキュリティ対策専門官
- 経済産業省 サイバーセキュリティ経営ガイドライン改訂委員 等



佐柳 恭威

名古屋工業大学 客員教授
(クリスタル・メソッドCOO)

- 元外資系証券会社でBCP/BCMを所管
- 地球規模課題対応国際科学技術共同研究推進事業 (SATREPS) 研究員 等



長谷川 弘幸

名古屋工業大学 客員助教
(中部電力)

- 中部サイバーセキュリティコミュニティ (CCSC)
- 産業サイバーセキュリティ中核人材育成プログラムの第2期修了者
- 日本シーサート協議会(NCA) 等



楓 森博

名古屋工業大学
客員教授 博士(工学)
(楓税理士事務所 所長)

- 日本物流学会 理事 等



岩崎 祐子

名古屋工業大学
客員研究員 博士 (工学)
(四日市大学 名誉教授)

- 東京銀行・東京三菱銀行(現三菱UFJ銀行)
- 四日市大学経済学部長
- 地球規模課題対応国際科学技術共同研究推進事業 (SATREPS) 研究員 等



吉井 清次

名古屋工業大学
客員研究員
(フォーティネットジャパン)

- 石油コンビナート高度統合運営技術研究組合 調査員
- OPC-UA統一プロジェクト 等

経営経験者

経営層の考え方を講義

役員会を模した提言シミュレーション演習にて実践的なアドバイスとフィードバック



加藤 哲夫

- 1998年 ソニーアメリカ バイスプレジデント
- 2003年 ソニーEMCS株式会社 マイクロデバイスセンター長
- 2006年 ソニーエンジニアリング株式会社 代表取締役社長
- 2015年 TKO代表

琉球大学工学部非常勤講師、名古屋工業大学非常勤講師、中央大学 ビジネススクール非常勤講師、東レ経営研究所 特別研究員、PHP研究所 ゼミナール講師などを歴任



高山 茂樹

- 2015年 旭化成イーマテリアルズ株式会社 代表取締役社長
- 2016年 米国ポリポア・インターナショナルCEO（兼務）
- 2019年 旭化成株式会社 代表取締役副社長
- 2022年 同社 顧問
- 2025年 同社 退任

芝浦工業大学非常勤講師、名古屋大学非常勤講師、電気化学学会会長などを歴任

サイバーセキュリティ企画演習 (CyberSPEX: Cyber Security Planning Exercise) ～ 組織のサイバーセキュリティを推進する責任者層の企画・提言スキル習得 ～

対象者

社会インフラ・産業基盤に関わる企業(ユーザー/ベンダー)・団体のサイバーセキュリティを推進する

- 責任者（マネジメント）層の方（部課長クラス）
- 今後、責任者になる方

※本プログラムは、日本の社会インフラ・産業基盤を守ることを目的に設計されたプログラムです。

日本の社会インフラ・産業基盤に関わる企業に所属し、日本国籍を有することを条件とし、これを満たさない場合、受講をお断りさせて頂く場合がございます。予めご了承ください。

日程／会場

- 日程： 2027年1月14日(木)、15日(金)、21日(木)、22日(金)
全日10:00～17:30（予定） ※全4日間の日程での募集になります。一部のみの受講は受け付けておりません。
- 会場： 独立行政法人情報処理推進機構
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス 8階
<https://www.ipa.go.jp/about/location.html>

受講料／定員

- 受講料： 20万円（税込） ※ 受講料には、交通費・食事代は含みません。
- 定 員： 20名 ※ 最少催行人数 6 名。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

留意事項

- ◆サイバーセキュリティに係る課題を整理するため、自社の状況をお話しいただくことがございます。受講者のご判断により、開示できる範囲でご対応ください。
なお、会社の状況等、機微な内容は参加者限りとするため、本演習に参加する受講者、講師、その他関係者には秘密保持契約書にご署名頂きます。
- ◆災害等のやむを得ない事情により、IPAの判断で本演習を中止することがあります。
その場合でも、実施日の振替は行いません。中止した場合には、受講できなかった方へ受講料の返還等の措置を行います。ただし、中止に伴う受講できなかった方の不便、費用、その他の個人的損害については何ら責任を負いません。
- ◆その他詳細は、お申し込み後に受講案内等で別途ご連絡させていただきます。

募集期間

募集期間は**2026年12月11日(金) 17時**まで、**入金は2026年12月25日(金) 17時**までといたします。
入金方法については、申込受付後、IPAから請求書をお送りしますので銀行振込にてお支払いください。

- ※ 定員に到達し次第、募集を締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- ※ 同一組織から複数名の応募があった場合は、参加人数を調整させていただく可能性がございます。

お申し込み方法

WEBフォーム上の受講申込書に必要事項をご記入いただき、お申し込みください。

※お申し込みいただきましたら、担当者よりご連絡を差し上げます。

お申し込みURL：https://info.ipa.go.jp/form/pub/application/spex_2026

- ※ 原則として、納入後の受講料はキャンセルされる場合でも、返金はいたしかねますので予めご了承ください。
- ※ 請求書は押印省略で発行いたします。押印希望の方は、受講可否の確定後にご連絡ください。

お問い合わせ先

電話 : 03-5978-7554 (直通)
※受付時間: 平日 9時30分-18時00分

メールアドレス: coe-promo-ap@ipa.go.jp

担当グループ : 企画部 事業推進グループ (お申し込みに関すること)
: 事業部 人材育成グループ (演習内容に関すること)

【個人情報の取り扱いについて】

弊機構は、本トレーニングのお申し込みのためにご提供いただいた個人情報の適切な管理に努めております。

当該個人情報は、本トレーニングを提供するために必要な範囲（事務処理及び受講者リストの作成等）で利用させていただきます。

個人情報保護についての詳細は下記URLからご確認ください。

<https://www.ipa.go.jp/privacy/index.html>